令和7年度　シラバス

科目	単位数	学年	
地理総合	2	2	
教　科　書番号・教科書名		副　教　材	
地理総合706『高等学校 地理総合－世界を学び、地域をつくる』(第一学習社)		「新編　地理資料」(とうほう)	

学習の目標	地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために，社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し，その課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において，主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。		
	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いている。 ・調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 【定期考査】	・地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目している。 ・概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりする力を培っている。 【発問評価、ノート提出、定期考査】	・地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとできる。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を持つことができる。 【授業態度、発問評価】

学習計画及び評価方法

学期	月	単元名	項目	学習活動と評価のポイント	評価方法 ①	②	③
第1学期	4	第1編　1章　地図や地理情報システムと現代世界 1節 球面上の世界と地図	①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方	・地図を持たない人々の生活を想像し，地図の有用性に気づくとともに，利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。	○	○	○
	5		⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用	・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし，日常的に使われているGNSSやGISなど，新しい地図表現の役割を理解する。		○	○
	6	2節　国家の結びつきとグローバル化する社会	①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し，交通・通信の発達によって，生活，社会，産業，国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。	○	○	
	7		⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき	・グローバル化の中で，人・「モノ」・資本の国際移動の複雑化や，国家的結びつきの変化に気づき，国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。	○	○	○
第2学期	9	第2編　国際理解と国際協力 1章　生活・文化の多様性と国際理解	①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候	・世界の気候帯ごとに，どのような特徴があり，どのような生活が営まれているのかを学習する。	○	○	
			③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界	・その地域の自然環境と，歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を，さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。	○	○	
	10		⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 ⑨多様性に富んだ世界の人々との共生	・多様なアイデンティティに持つ世界の人々と共生していくためには，他者の文化を尊重するとともに，自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。	○	○	○
	11	第2編　国際理解と国際協力 2章　地球的課題と国際協力 1節　持続可能な社会を目指 2節　すべての人々の尊厳と	①持続可能な開発目標(SDGs) ②地球的課題の地理的な側面	・5つのPの枠組みを活用して，持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を学び，地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。	○	○	
	12	平等が守られた社会に向けて	①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題	・現在，直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し，それらは相互に関連し，地域によって現れ方が異なることを理解する。	○	○	
				・各地球的課題について，地域性を踏まえて把握し、多面的・多角的に考察している。	○		○
第3学期	1	3節　自然と調和した豊かな社会に向けて	①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 ④都市・居住問題	・持続可能なライフスタイルの実現には，さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し，身近な認証制度を調べ，まとめることができる。	○		○
		4節　現役世代と将来世代のための地球	①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題	・地球環境問題のうち，酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び，世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。	○	○	
	2	5節　平和で公正な社会に向けて	①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ	・世界の民族とは，共通の帰属意識(アイデンティティ)を持つ集団であり，世界の多くの国は複数の民族により構成される多民族国家であり，多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば，内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。	○	○	
		第3編　持続可能な地域づくりと私たち 1章　自然環境と防災	①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災	・自然災害の多い日本列島で，人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について，自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに，先人の知恵が詰まった，災害に備え，災害とともに暮らす生活につ	○	○	○
	3		⑤私たちができる災害への備え	・自然災害からの復興を困難にする複合災害について具体的な事例を通して理解し，これまで学んだ対策を組み合わせて備えるために必要な行動につい		○	○
		2章　生活圏の調査と地域の展望	①地域調査の方法	・地域調査について，積極的な調査を実施できるよう，地域調査の必要性を理解し,地域調査の基本を身につける。	○	○	